学術集会
ご報告

第21回
日本生殖内分泌学会学術集会を終えて

会長
杉野　法広
山口大学大学院
医学系研究科
産科婦人科学
教授

この度，第21回日本生殖内分泌学会学術集会を平成29年１月14日（土）に千里ライフサイエンスセンターにおいて開催させていただきました．お陰様で154名のご参加をいただき，盛会裏に終了することができました．ありがとうございました．

本学術集会は，生殖内分泌学に関わる基礎系および臨床系のさまざまな分野の研究者が一同に集い，最新の知見を発表し議論する場として，大きな役割を担っています．近年，生命科学・医学の研究において，創薬，医療開発，技術革新などの重要性から，研究テーマが重点化され，特定の研究分野が推進され，国際競争も激化しています．その一方で，地道な基盤となる基礎的な学術研究の重要性も指摘されています．研究に携わるわれわれは，研究が本来，楽しいものであるから続けているのではないでしょうか．知的好奇心，「知る，見つけることの楽しさ」に研究の原点があるのではないかと，私は，思っています．

さて，本学術集会では，47題の一般演題をご発表いただきました．生殖内分泌領域における高いレベルの基礎的な内容の演題が多くありました．今回は，参加された先生方に少しでも活発な議論をしていただこうと考え，例年あるシンポジウムは行わずに，その時間を一般演題に分配し，発表時間７分，討論５分と長くしました．期待どおり，活発な質疑応答が繰り広げられました．とくに，若手の研究者の皆さんには，「知る，見つけることの楽しさ」を実感していただけたものと思います．

また，特別講演として，大阪大学微生物病研究所・遺伝子機能解析分野教授の伊川正人先生には「ゲノム編集による遺伝子改変マウス作成技術の開発とその応用」を，ランチョンセミナーとして，浜松医療センター院長の小林隆夫先生には「わが国における女性ホルモン剤使用に関連する血栓塞栓症の現況」をご講演いただきました．ありがとうございました．

本学術集会の開催にあたりましては，多くの方々のご指導ご支援を賜り，厚く御礼申し上げます．日本生殖内分泌学会のますますの発展を心からお祈り申し上げます．

第21回日本生殖内分泌学会学術集会　会長
杉　野　法　広
山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学